

福島第一原子力発電所 土壤中のPu分析結果

1.測定結果：

(データ集約:6/17)
(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離	採取日	Pu-238	Pu-239+240
グラウンド(西北西約500m) ¹	2016年3月16日	$(2.3 \pm 0.64) \times 10^{-2}$	$(2.4 \pm 0.64) \times 10^{-2}$
野鳥の森(西約500m) ¹		$(1.8 \pm 0.49) \times 10^{-2}$	$(1.8 \pm 0.16) \times 10^{-1}$
国内の土壌(昭和53年～平成20年) ²		N.D. ~ 1.5×10^{-1}	N.D. ~ 4.5

[]内は検出限界値を示す

- 1：過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。
2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

2016年3月16日に検出されたPu-238とPu-239+240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

以上